



清 泉

令和6年6月24日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

職員室から聞こえてきた先生方の会話（今年度初の定期考査に想う）

期末考査が終わった放課後の職員室から、「せっかく授業は楽しいのに……。テストはつまらない。」と生徒が言っていたという話が聞こえてきました。私はその話を聞きながら次のように思ったのです。『生徒は分かっている、「学び」の本当の楽しさを』、そして、この会話をしている先生方も『その教科等の本質の面白さを生徒に伝えたいと思っている』と。『授業が楽しい』これほど教師冥利はありません。新しいことを知る学び、次から次へと湧き出る『疑問』と『解決』、実験や観察からくる『驚き』、突然やってくる『ひらめき💡』もあるかもしれません。その後も先生たちの会話が続いていました。「定期考査も授業のやり取りのような『問い』を考えていきたい。」「でも、受検（験）のことも考えると……。」「という会話が続いたのです。そして、「自分も（中学校の時？）苦手なことがあった。どうやってもなかなかできなくて。いろいろやっている中である時自分に合った勉強の仕方が見つかった。その時、本当にうれしかった。」という心から湧き出るような声が聞こえてきたのです。

～ある書籍から～

企業の中でたくさんの人間を見つめて書籍も出している畠井操氏は「まじめなのに伸びない人は、物事に対する工夫が足りないからだ」と言いきっている。この“工夫”と工夫するための心の持ち方はビジネスマンだけではなく、学生にも共通する。自分を生かすために一番大切なことは「自分を安っぽく取り扱うな。自分なんかにはできないと思い、捨てるな」と書かれており、そして、自分を大切にするためには「どんなに苦しいときでも、自分は必ずよくなる人間である」と信じること。わからない前途に対して“必ずよくなる”なんて考えることがナンセンスと言う人もいるだろうが、だからこそ、「明るい未来を思う方が賢明な生き方なのだ」と。



「SNS」などインターネット上のトラブルが気になります

ちょっと昔は「メール」、以前は「ライン」、その後「インスタ」さらに……と子どもたちが活用している「SNS（ソーシャル・ネット・サービス）」がどんどん形態を変えています。

（本当の）昔は電話でした。電話は家庭に所属する物であり、家族は、いつ、どのように、どれくらい使用しているかお互いの状況が分かり、気になれば「どうした？」「使いすぎじゃない？」という声をかけられました。もちろん相手も「こんな夜分には申し訳ない」などの配慮もありました。もう1つ、自分自身も電話の向こうの人の声のトーンで「相手が今どんな感情を得たのか」を気にかけてののではないのでしょうか。現代社会では、受検の出願を始めインターネットを利用しないということはかなり困難です。だからこそ、「賢い」利用と、改めて相手や相手の家族への思いをもって使用させたいです。

👉 学校ホームページに「令和6年度 昭島市立清泉中学校 いじめ防止基本方針」を掲載していますが、併せて、「SNS」等インターネットに関わる関係資料を掲載しますので、再度ご確認ください。

●「我が子を守る～思いがけないインターネットトラブルから～」

※特に2ページ目の「家庭のルールを相談して決めよう」のレベル1からレベル5までの内容をお子様とご確認ください。